10 連休中の生活について

1. 交通事故・違反の防止について

- ・無断で原付免許を取得しない。
- ・家族以外の車には乗らない。友人や知人の車に同乗中の交通死亡事故も起きている。
- ・高校生の自転車事故は非常に多い。ルール・マナーを守る。特に、この時期は交通事故が増えるので十分注意する。加害事故の場合は数千万円の賠償請求が発生した事例もある。
- ・暴走行為（共同危険行為：2年以下の懲役又は50万円以下の罰金、違反点数25点、免許取消、欠格期間2年）は、反社会的行為である。見に行くことも取り締まりの対象。社会に迷惑をかけることは絶対しない。

※ 自転車の事故で相手を死傷させた場合、「重過失致死傷罪」(刑法第210条:5年以下の懲役または禁固か100万円以下の罰金)。通学や買い物や遊びのために使用していてもこの罪が適用される。そのほかに、道路交通法や過失傷害罪が適用されることがある。罰金刑以上の刑事罰を受けると、医師、看護師、栄養士、調理師などの免許が与えられないことがある。自転車事故などで刑事罰を受けると、就きたい仕事に就けなくなるおそれがある。

2. 携帯電話（スマートフォンを含む）等情報機器の利用に係るトラブルの防止

- ・出会い系サイト等、危険なサイトに絶対アクセスしない。（被害の約8割が高校生）
- ・コミュニティサイトやゲームサイトを利用した犯罪が増加（H30 被害者の70%が15～17歳）
特に無料通話アプリのID交換掲示板に起因する犯罪被害が激増しているので、安易な利用は絶対にしないこと。ネットで知り合った人に個人情報をお教えしない。絶対に会ったりしないこと。被害に遭っている9割以上が携帯電話を介して事件に巻き込まれている。
- ・ネット依存症等の問題も増加している。使い過ぎに注意すること。学習面が疎かになったり、夜更かし等により生活リズムが乱れるだけでなく、心身の健康を損ねてしまう問題も起きている。依存症により、暴力的になり殺人など凶悪犯罪を引き起こすケースも起きている。
- ・誹謗・中傷などの書き込みは絶対にしない。人として許されない行為であり、法律に触れる犯罪行為である。名誉毀損罪・侮辱罪、状況によっては傷害罪や威力業務妨害罪等になる。
- ・個人情報（写真・フルネーム・アドレス・電話番号等）の管理に十分気を付け、絶対載せない。悪用され犯罪に巻き込まれる可能性があり、実際に事件も起きている。写真の撮影記録（位置情報）から自宅を割り出され犯罪被害にあったケースもある。顔写真を掲載しないだけでなく、撮影記録のある写真は掲載しない。

※ 犯罪に巻き込まれない、犯罪者にならないために、情報管理を含めネットの利用には細心の注意を払わなければならない。

※ コミュニティサイト等の書き込みであっても情報を発信していることだと考え、不特定多数の人が見ており、情報が拡散することもあり得る(グループ内のトークだとしても)。さらにその情報はたとえ本人が消しても将来にわたって残り続け、内定取り消しや合格取り消しなど、進路を含め今後の人生に大きく影響することがある。インターネットの世界は公共の場である意識をもって利用する必要がある。

※ 栃木県青少年健全育成条例では「青少年(18歳未満)が携帯電話でのインターネット利用契約を締結する場合は、理由のない限り、フィルターリングを解除することはできない。」と規定している。

3. 薬物乱用の防止

- ・大麻や覚醒剤、脱法ハーブなど危険ドラッグ、その他の乱用は非常に危険であり、廃人や死に至る恐れもあるので絶対に使用してはならない。
- ・特に「脱法ハーブ」などの「危険ドラッグ」は未成年へ広がっており、親しい人に誘われ軽い気持ちで始め、友人同士の連帯感から引き返せなくなる傾向が見られる。また、若年からの喫煙や飲酒の習慣が、「危険ドラッグ」や「大麻」使用への心理的なハードルを下げさせている。
- ・「違法ドラッグ」(ハーブ・お香・ビデオクリーナー・芳香剤・観賞用植物などを装い販売されている)は例え「合法」などと称していても、麻薬や覚せい剤と同じかそれ以上の恐ろしさを持つ。これらの物質を使用すると呼吸困難を起こしたり、死亡することもある。また異常行動を起こして他者に危害を加えてしまうこともある。

4. 万引き・窃盗について(窃盗罪：10年以下の懲役又は50万円以下の罰金)

- ・絶対に窃盗・万引きをしない。ゲーム感覚やばれなければなど安易な気持ちでしない。
- ・「ちょっとだから黙って自転車を借りる」も犯罪。

5. 生活について

- ・連休中の不規則な生活により、連休後に遅刻や欠席したり、登校渋り、不登校になる生徒が増加する傾向にある。
- ・友人宅などに外泊したり、自宅に泊めたりしない。外出の際は、必ず保護者に行き先、用件を伝え、夜間の外出は8時までとする。
- ・頭髪等容儀についても、もう一度確認をお願いします。休み明け、服装頭髪指導(5/7)。
- ・中間テスト(5/22~24)に向けて準備をしておく。

※ 深夜徘徊その他で、補導されることがないように十分注意する。警察から情報が来る。

6. 不審者等の被害防止

- ・不審者に十分注意すること。服装の乱れが不審者を誘発するという意識を持つこと。
- ・女子生徒の夜間の外出は、保護者同伴または二人以上のグループで行動する。
- ・車を使用した犯罪が増加しているため、家族以外の車には絶対に乗らない。
- ・危険を感じたら、近くの家に助けを求めるなど身の安全確保後、すぐに110番通報する。

7. その他

- ・安易な行動をとらない。行動する前にもう一度考えて行動する。
- ・事故・事件等が発生したらすみやかに学校または担任に連絡。

(学 校 : 0 2 8 5 - 8 2 - 3 4 1 5)